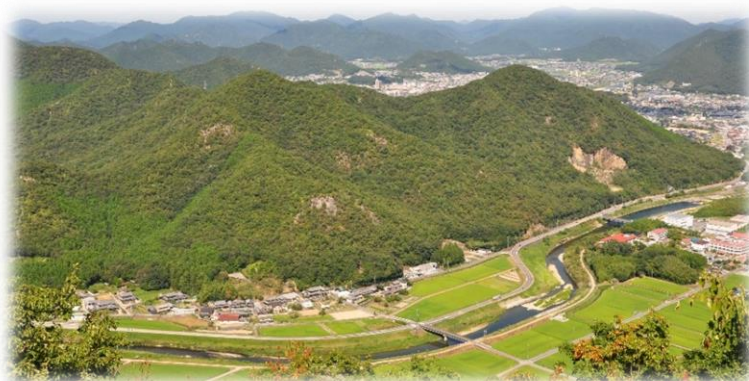


芳田地区まちづくり行動計画

芳田地区住民の絆を深め、芳田を元気にして、
住民誰もが生き生きと暮らしていける芳田の里をめざして



2019年(令和元年)12月

法太の里“ゆめ”委員会

はじめに

芳田地区では2016年3月に『法太の里“ゆめ”プラン2015』を策定しました。

プランの一つに「通院等が困難な高齢者のために、移動手段の整備について検討します。」とあります。この課題については、各町区長と芳田ふれあい会議役員で構成する芳田ふれあい会議プロジェクト部会で検討し、検討結果をまとめた「芳田地区における公共交通(デマンド型交通)に関する要望書」を市長に手渡しました。要望書はデマンド型交通を地元で自主運行するので、財政面での支援をしてほしいとしていましたが、市は2021年度に西脇市全域でタクシー事業者と行政が実施主体となってデマンド型交通を導入することを決定し、今、その準備を進めています。デマンド型交通を自分たちで運行することを覚悟していた私たちにとっては期待以上の内容で、大きな成果を引き出すことができました。

一方、「現保育園跡地等を利用して、いろいろな世代が交流できる場を育てます。」というプランについては、これも芳田ふれあい会議プロジェクト部会において検討した結果、財政的にも人的にも地元で維持管理していくことは困難であるため保育園は解体するとの結論に至りました。その結果、交流の場づくりのための前提が崩れてしまいました。

他のプランについては手がつけられていないものがほとんどです。『法太の里“ゆめ”プラン2015』をどう具体化していくのか、私たちには早急に対応することが求められています。

今、芳田地区でも人口減少・少子高齢化が進行しています。国勢調査の結果によりますと、芳田地区では1995年には人口2767人、世帯数736世帯、2015年には人口2061人、世帯数644世帯となっていました。2019年10月現在、芳田地区の人口は1900人を下回り、高齢化率は34.8%です。この人口減少・少子高齢化の流れを押し返すことはできず、このような現状を直視して芳田地区の将来を考えた時、これからも住民誰もが生き生きと暮らしていけるのか、芳田地区内の組織や事業はこれまで通り維持できるのか、明るい展望がなかなか見えず、強い危機感を持たざるを得ません。

そこで、芳田地区区長会と芳田ふれあい会議が中心となって法太の里“ゆめ”委員会をもう一度立ち上げ、『法太の里“ゆめ”プラン2015』を見直し、たとえ人口減少・少子高齢化が進行しても、住民の絆を深め、芳田を元気にして、住民誰もが生き生きと暮らしていける芳田の里にしていくために、今後の芳田地区の指針となる『芳田地区まちづくり行動計画』を策定することとしました。法太の里“ゆめ”委員会には39人が集まり、人口減少・少子高齢化が進行する中でこれから芳田地区は何をしていけばよいのかについて話し合いました。そして、話し合いの結果を『芳田地区まちづくり行動計画』としてまとめました。今後、芳田地区ではこの『芳田地区まちづくり行動計画』に基づいてさまざまな事業を展開していきます。

人口が減少し、行政組織も縮小していかざるを得ない今、行政がすべてをやってくれる時代ではありません。できることは自分たちで何とかすることが求められています。『芳田地区まちづくり行動計画』を実行していくに当たって、芳田地区のみなさんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

行動計画策定までの経緯

『芳田地区まちづくり行動計画』を策定するため、法太の里“ゆめ”委員会は6回開催しました。下記の通り、第1回から第5回まではグループに分かれて、「子育て支援」、「高齢者支援」、「安全・安心」、「交流・ふれあい」、「魅力づくり」について話し合いました。住民の絆を深め、芳田を元気にして、住民誰もが生き生きと暮らしていける芳田の里にしていくためにこれから芳田地区は何をしていけばよいのか、それぞれの検討テーマで各グループからたくさんのアイデアが出されました（資料1）。そして、このグループ討議の後、区長・グループリーダー合同会議でアイデアの絞り込みをして行動計画(案)を作り（資料2）、最後の第6回法太の里“ゆめ”委員会で一部修正の上、全員の了承を得て『芳田地区まちづくり行動計画』策定となりました。

- 6月18日(金) グループリーダー会
法太の里“ゆめ”委員会の進め方について検討
- 6月24日(月) 第1回法太の里“ゆめ”委員会
法太の里“ゆめ”委員会の活動計画について確認
「子育て支援」について検討
- 7月23日(火) 第2回法太の里“ゆめ”委員会
「高齢者支援」について検討
- 8月22日(木) 第3回法太の里“ゆめ”委員会
「安全・安心」について検討
- 9月25日(木) 第4回法太の里“ゆめ”委員会
「交流・ふれあい」について検討
- 10月17日(木) 第5回法太の里“ゆめ”委員会
「魅力づくり」について検討
- 11月 9日(土) 第1回区長・グループリーダー合同会議
『芳田地区まちづくり行動計画』を実行し、芳田地区が抱える課題を解決していく組織として、新たに芳田自治協議会(仮称)を設立することで意思統一
行動計画(案)検討
- 11月13日(水) 第2回区長・グループリーダー合同会議
行動計画(案)検討
- 11月29日(金) 第3回区長・グループリーダー合同会議
行動計画(案)とコミセン建設の要望書(案)検討
- 12月26日(木) 第6回法太の里“ゆめ”委員会
『芳田地区まちづくり行動計画』策定
コミセン建設の要望書の内容決定
芳田自治協議会(仮称)の設立決定

話し合いの中で、『芳田地区まちづくり行動計画』を実行に移していくに当たって、高台にあって芳田地区住民が集まりにくく、急傾斜警戒区域に隣接する芳田の里ふれあい館は活動の拠点にはなり得えないということが全員の共通の思いとなりました。また、「安全・安心」の話し合いでは、芳田地区の長年の懸案事項である風水害時の指定避難所がない問題についても話し合い、「どうして芳田地区だけないのか」「芳田の者だけ遠くの避難所まで行けというのか」「納得できない」といった意見が多く出ました。今、全国で大規模災害が多発しており、芳田地区にとっても決して他人事ではありません。このような現状の中、市内で芳田地区だけ指定避難所がないというのでは住民の不安は募るばかりで、とうてい容認できるものではありません。これまで芳田地区区長会から行政にこの点を指摘し、指定避難所の設置を要請してきましたが、未だ実現していません。風水害時の指定避難所設置は芳田地区住民の悲願です。

そこで、芳田の里ふれあい館は今後の活動の拠点にならない、芳田地区内に風水害時の指定避難所がない、この2つの問題を一挙に解決するために新たなコミュニティセンターの建設を行政に要請することを全員で意思統一し、「指定避難所にもなる新たなコミュニティセンター建設に関する要望書」を作りました（資料3）。



芳田地区まちづくり行動計画

1. 『芳田地区まちづくり行動計画』を実行していくために

芳田地区では、『芳田地区まちづくり計画の提案書・平成18年度版』を実践・推進する組織として、2006年8月に芳田地区区長会をはじめ芳田地区内の各種団体が結集して芳田ふれあい会議が結成されました。結成以来、芳田ふれあい会議では、芳田ふれあいまつり、芳田地区合同防災訓練、芳田の里花いっぱい運動、芳田ふれあい直売所ふれあいサロン、芳田街道イルミネーション、芳田ふれあいスポーツフェスティバル、芳田クリーン作戦等の事業を実施し、芳田地区のまちづくりの中核を担ってきました。しかし、芳田ふれあい会議の活動は交流・ふれあい、芳田の魅力づくりの分野が中心で、大規模災害時の対応、子育て支援、高齢者支援等の芳田地区が抱える課題を解決していく組織ではありません。

西脇市では、『西脇市自治基本条例』の中で「公共的団体として、民主的で透明性のある運営を行い、地域の課題を解決する」組織として地域自治協議会（資料4）を設立することができるとしています。そして、「市は、地域自治協議会の活動を尊重し、その活動に対して必要な支援を行うものとします。」とし、地域自治協議会の財源として地域自治一括交付金を交付することにしています。

すでに市内にはこの地域自治協議会を立ち上げている地区もあります。芳田地区も『西脇市自治基本条例』のめざす方向に沿い、芳田ふれあい会議に代わり、『芳田地区まちづくり行動計画』を実行し、芳田地区が抱える課題を解決していく組織として、新たに芳田自治協議会(仮称)を設立します。

『芳田地区まちづくり行動計画』にはこの点を盛り込み、芳田自治協議会(仮称)設立のために具体的にどんな準備をするのかを示しました。また、計画を策定するに当たっては、指定避難所にもなる新たなコミュニティセンター建設を前提に話し合いましたので、その建設をめざすことも計画の中に入れました。

【短期行動計画】

- ・『芳田地区まちづくり行動計画』を実行する組織として芳田自治協議会(仮称)を設立
 - 芳田自治協議会(仮称)設立準備委員会の設置
 - 役員・事務局体制の確立
 - 各事業を担う実行組織の立ち上げ
- ・リーダーの育成



【長期行動計画】

- ・指定避難所にもなる新たなコミセンの建設
 - 各種会議室、調理室、キッズスペース、学習スペース、談笑スペース、喫茶スペース、作品の展示スペース等がある複合施設にして芳田地区住民が気軽に集える場に消防団が再編した時の消防団詰所を併設

- ・コミセン内に芳田自治協議会(仮称)事務局を設置
- ・コミセンにコンビニ誘致

2. 芳田の宝 芳田っ子がすくすく育つために

2019年に誕生した芳田地区の赤ちゃんは8人です。子どもの数が少なくなってきているのは残念ですが、芳田地区の子どもたちは芳田の宝です。子どもは家庭内外でいろいろな刺激を受けて育っていき、「みんなの手で育てる」という視点が必要です。子育て家庭だけに負担を求めるのではなく、芳田の宝である芳田っ子は芳田地区のみんなですくすくと育て、その結果、芳田っ子が大人になっても「芳田が大好き」といってくれることを期待します。

【短期行動計画】

- ・声かけ、あいさつ運動の展開
- ・登下校時の見守り活動の充実
見守り隊の組織化等検討
- ・通学路の整備、安全対策



【長期行動計画】

- ・コミセン近くに子どもが遊べる公園の建設
- ・コミセンで各種教室を開設
母親教室、育児教室、親子体験教室、親子ものづくり教室
子どもを対象にした工作、絵、手芸等の教室
昔の遊びなどを伝承するような会
みなみ会と連携した夏休み教室の工夫

3. いつまでも生き活きと暮らしていくために

高齢者といっても、現役でバリバリ活躍されている方もあれば、支援の必要な方もおられます。いずれにしろこれまで芳田地区に貢献されてきた高齢のみなさんがこれからも生き活きと暮らしていけるようみんなで応援していきます。

【短期行動計画】

- ・声かけ、あいさつ運動の展開
- ・見守り活動の充実
- ・交流の場づくり
まちかどカフェ、高齢者と若い世代の交流、みぎわ園との交流等
- ・デマンド型交通の周知、利用呼びかけ
デマンド型交通の利便性確保と低料金化を行政に要請
- ・福祉タクシー券サービスの充実を行政に要請
- ・高齢者支援に関する学習会の開催



【長期行動計画】

- ・ 移動手段の充実
 公共交通、デマンド型交通の充実
 デマンド型交通＋芳田地区内の周回交通検討
- ・ コミセンを拠点にしたサークル活動の促進

4. みんなで助け合って安心して暮らしていくために

今、全国で大規模災害やこれまででは考えられないような事故・事件が多発しています。住民の安全・安心が脅かされる事態に対して、指定避難所設置といったハード面の整備もちろん大事ですが、それと共にみんなで助け合って対処するといったソフト面の充実も求められます。

【短期行動計画】

- ・ 各町区長(自主防災組織)、民生児童委員、消防団の連絡体制の確立
- ・ 防災訓練の継続
- ・ 芳田地区防犯学習会・交通学習会の継続
- ・ 防犯灯の増設
- ・ 防犯カメラの設置



【長期行動計画】

- ・ 防災に関わる各町間の連携・サポート体制の構築
- ・ 指定避難所としてのコミセンを会場にした芳田地区合同防災訓練の実施
- ・ 消防団の再編

5. 絆を深め、笑顔いっぱいの芳田になるために

都会だけでなく、田舎であっても人間関係が希薄になってきています。『芳田地区まちづくり行動計画』が実りあるものになるためのベースとなるのは、芳田地区住民の強い絆です。

【短期行動計画】

- ・ 芳田ふれあいまつりの継続
 開催場所の再検討 マンネリ化解消
- ・ 芳田ふれあいスポーツフェスティバルの継続
- ・ 直売所ふれあいサロンの拡大



【長期行動計画】

- ・ コミセンを会場にした芳田ふれあいまつりの実施
- ・ みぎわ園と共催でフェスティバルを開催

- ・コミセンで定期的な交流イベントの開催

6. 芳田に住んでいることに誇りを持てるようにするために

芳田地区は西脇市の端っこに位置し、公共施設・商業施設等も少なく、住むのに不便な所と見られがちです。自然が豊かだと反論できるかもしれませんが、しかし、自然の豊かな所は他にもいっぱいあり、それだけでは自慢にもなりません。さらにプラスアルファの魅力を作り出し、地区外に発信もして、芳田地区に住んでいることに誇りを持てるようにしていく必要があります。

【短期行動計画】

- ・芳田の里花いっぱい運動の継続
- ・芳田街道イルミネーションの継続
- ・芳田クリーン作戦の継続
- ・角尾山登山道整備の継続
- ・芳田ふれあい直売所、夢うさぎの活動支援
- ・野間川芳田公園の活用
- ・ギフチョウのアピール
- ・ネット、紙媒体による情報発信



【長期行動計画】

- ・芳田の山田錦、イチゴのブランド化
- ・散歩コース、自然散策コースづくり
- ・出会町のキャンプ場の活用

7. 『芳田地区まちづくり行動計画』を豊かなものにするために

『芳田地区まちづくり行動計画』は今後の芳田地区の指針となるものですが、計画にないものは何もしないというわけではありません。計画は現時点で考えた取り組みを示したものです。今後、計画は常に見直していき、計画にはなくても、芳田地区が抱える課題を解決していく組織である芳田自治協議会(仮称)がめざす方向に沿うものであれば、どんどん取り込んで必要な予算もつけます。「芳田地区のみんなのためにこんなことをしたい」とどんどん声を上げてください。

